

解説!

ソーシャル デザインセンター

ってなんだ?

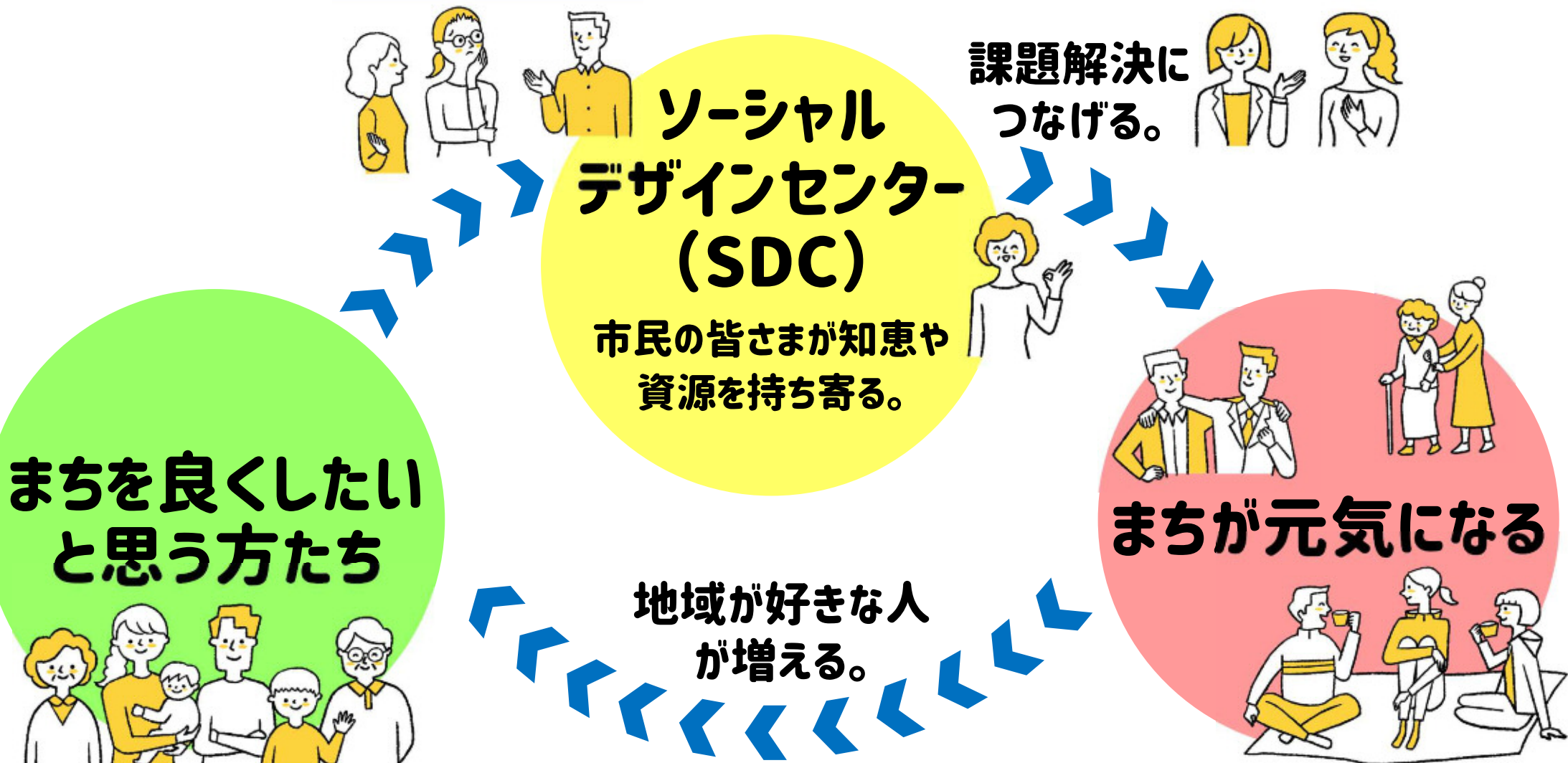


川崎市は各区にソーシャルデザインセンター(SDC)を作りたい!

- ◆ SDCを簡単に言い表すとすれば、「いろいろな活動をしている人たちのつなぎの場」のこと。
- ◆ 将来の川崎市には、各区の特徴に応じたSDCが必要と考えているため、SDCに必要な機能を、区ごとに、市民の皆さまと一緒に検討している。
- ◆ 市民主体の運営が理想。

SDCが生む地域の好循環

様々な人や団体をつなげることで、
地域を元気にする。



SDCに必要と考えられる機能

出来るところから試していく。
小さなことから始めていく。

つなぐ

人や団体、企業や資源、
ニーズと支援メニューなど

育てる

「まちのひろば」への支援
人材育成

伝える

情報の受発信

やってみる

新たな交流のキッカケ作り
社会実験、課題提起

その他、
区ごとに必要と
思われるもの

各区の取組状況



ソーシャルデザインセンターの創出に向けた各区の取組



【川崎区】

SDCのモデル創出に向けて団体を募集し、現在2団体と協定を締結し、実証プロジェクトを進めている。

12月まで今年度の参加団体を募集しているが、プロジェクトの実証を踏まえ、団体がそれぞれの強みを活かし連携することを核とした、今後の区におけるSDCモデルの創出に向け、取組を進めている。



ソーシャルデザインセンターの創出に向けた各区の取組



【中原区】

SDC創出に向けた検討のたたき台として、「知る」「集う」「つながる」「さらに一歩」をコンセプトにした、「中原区

SDC創出に向けたデッサン」を作成し、区民の皆様との意見交換会を定期的に行っている。

意見交換会で提案されたいくつかの取組について、実践に向けた検討を行うことで、SDCの機能検討につなげている。



意見交換会の様子

ソーシャルデザインセンターの創出に向けた各区の取組



【高津区】

地域活動の入り口となる「まちづくりカフェたかつ」や、課題解決の実践として企業や団体等が参加する

「たかつワクワクデザインラボ」を実施中。

今年度は「脱炭素」などをテーマに、具体的な取組の「プロジェクト化」に向けて、多様な主体による意見交換等を実施している。



ソーシャルデザインセンターの創出に向けた各区の取組



【宮前区】

「希望のシナリオ」実現プロジェクトを立ち上げ、区内の活動相関図の作成や、現場の活動を見聞きする「現地ツアー」を実施。

区内の豊かな活動を活かし、主体的に活動する既存の活動や人をつなぎ、さらに豊かにしていくしくみとして、ラウンドテーブルをお試し実施している。



ソーシャルデザインセンターの創出に向けた各区の取組

【麻生区】

「あさお希望のシナリオプロジェクト」
を立ち上げ多くの区民が参加。

SDCとしての支援機能を検討
するために、区内のまちのひろばの
視察を実施。

今後、SDCの形態、機能の具体化等の検討のために、い
くつかのプロジェクトを実施する予定。

